

6月6日は補聴器の日

～福岡・全国で聴覚障がい者に関する支援強化の動き～

福岡市を拠点に活動を行う難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和、以下「そらいろ」）は、「わからないことが多いと言われていた難聴児の子育て」をめぐる課題解決に向けて活動しております。6月6日の補聴器の日（※1）に際し、聴覚障がい者に向けた支援強化に関する動きをお知らせいたします。

【1】「福岡県乳幼児聴覚支援センター」が開設・支援が必要なお子様や保護者などに対する相談対応

福岡県では、1月中旬より「福岡県乳幼児聴覚支援センター」（※2）が設置されました。これは、新生児聴覚スクリーニング検査（生後1週間以内に産科医療機関で実施する聴覚検査）の結果、要精密検査となるなど支援が必要な子どもを円滑に療育に繋げるため、療育開始までのフォローアップやきこえに不安を持つ保護者等に対する相談対応の実施などを目的としています。子どもの将来にわたって大きな影響を及ぼす聴覚障害の早期発見、早期療育に繋がる支援の強化は、難聴児の子育てをしやすい環境づくりに大きく寄与するものだと心強く感じています。

当家族会は、福岡県乳幼児聴覚支援センターと連携を図り、難聴児を育てる当事者としての情報提供も行っています。



【2】きこえない人ときこえる人を電話でつなぐ「電話リレーサービス」開始！



電話リレーサービス（※3）は、2020年に成立した「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律」に基づくもので、7月1日より開始予定です。聴覚障がい者などが手話通訳サービスオペレーターなどを介して電話を行うことを目的としており、公共サービスとして24時間365日利用できます。同種のサービスはこれまで民間事業者も提供してきましたが、公共サービスとして制度化することで、双方向利用や緊急通報への対応強化を図っております。

当家族会は今後も定例会（※4）などを通じて、難聴児の子育てをしやすい環境づくりや難聴理解を広げる活動を展開してまいります。

（※1）1999年に一般社団法人補聴器工業会並びに一般社団法人日本補聴器販売店協会が制定した記念日で、6の形を向かい合わせにすると耳の形に見えることが由来

（※2）福岡県庁HPより https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shinsei_jichoukaku.html

（※3）総務省HPより https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/telephonerelay/index.html

（※4）2021年6月27日（日）の14:00～16:00、福岡市立心身障がい福祉センター（あいあいセンター）にて実施予定

【本件に関するお問い合わせ先】

難聴の子を持つ家族会 そらいろ <https://sorairofukuoka.jimdofree.com/>
担当：岩尾（いわお） e-mail：yukikazu_iw203@blue.plala.or.jp

そらいろ×映像制作会社・KOO-KI（空気株式会社・福岡市）
「難聴理解促進動画」制作中&7月完成予定！
<https://readyfor.jp/projects/sorairo>

KOO-KI™